

平成26年度
わかりやすい決算書

宮若市マナーブック
主要施策の成果報告書

ごあいさつ

宮若市では、市民参加による協働のまちづくりを推進するため、市民の皆様にもまちづくりに関する情報を積極的にお知らせし、情報の共有に努めています。そのひとつとして、決算の概要をわかりやすく説明した「宮若市マネーブック～わかりやすい決算書～」を作成しており、このたび、平成26年度分の決算内容をまとめたマネーブックが完成しましたのでお知らせします。

平成26年度は、企業の設備投資の減少による固定資産税の減収等により全体の税収は減少したものの、企業収益の増加に伴う法人市民税が回復傾向にあり、景気回復への兆しに期待を寄せながらも、有利な財源の活用や経常的経費の削減等、徹底した行財政改革の推進により、健全な財政運営を進めて参りました。

そのような中、国の経済政策の追い風に乗り、磯光工業団地には念願でありました自動車部品製造の企業の進出が相次いで決定し、一方、トヨタ自動車九州株式会社では、高い次元での自動車づくりを目指した研究開発施設であるR&Dセンターの建設が始まり、平成28年春の開設に向けて整備が進んでいるなど、北部九州の自動車産業の中核としての存在感をさらに強めています。さらには、第1次宮若市総合計画後期基本計画の最重要課題である施策として、若宮小学校と宮若西中学校の小中一貫教育校の整備や、定住促進施策として平成29年度の分譲開始を目標に良質で安価な価格設定を予定している（仮称）光陵地区住宅団地の整備、公認規格を有する野球場等を備えた光陵グリーンパークの継続的整備に取り組んできたところです。

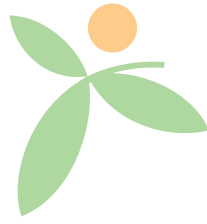
わが国は、すでに人口減少の時代を迎え、それぞれの地域で活性化への取組を進めておりますが、地域を取り巻く状況はより一層厳しさを増しています。国においては、昨年11月に「まち・ひと・しごと創生法」を制定し、本市でも「地方創生」への取組を進めているところですが、私たち地方に暮らす者が創意工夫を凝らし、自主性・独自性を最大限に発揮して魅力あるまちづくりを進めていかなければなりません。この機会をチャンスにとらえ、市民・企業・行政が一体となって英知を結集し、取組を進めていく所存であります。

宮若市は平成28年2月に市制施行10周年を迎えます。この10周年の歩みを未来に活かし、市民一人ひとりが希望と誇りを抱くことのできるふるさとづくりに向けてさらに邁進して参りますので、皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

平成27年9月

宮若市長
有吉 裕信





はじめに

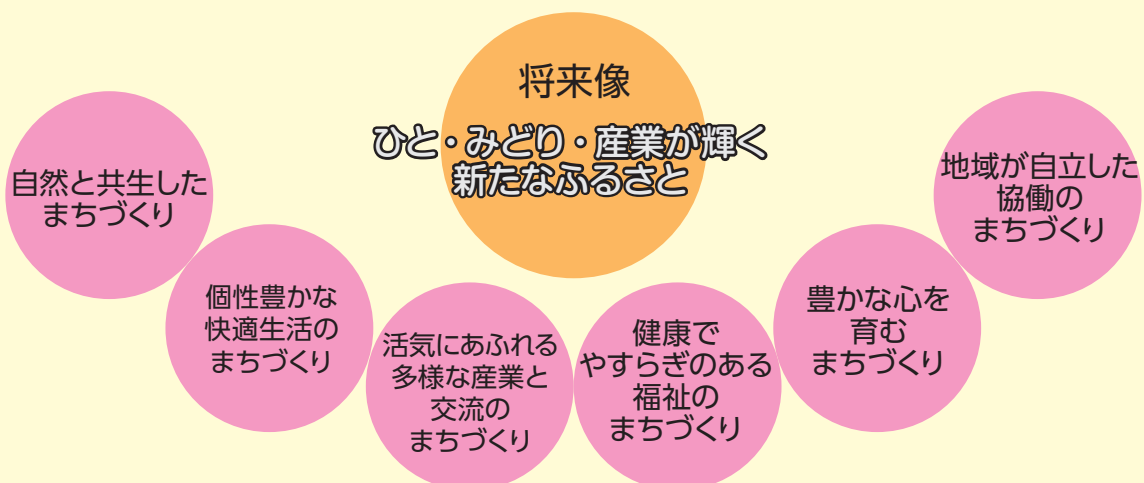
宮若市では、市民の皆様と協働でまちづくりを行うため、市の情報を積極的に公開しており、その1つの方法として、予算書と決算書の概要版を作成し、市民の皆様にご覧いただいております。

このマネーブックは「第1次宮若市総合計画」で定めた6つの基本方針に基づいて構成しています。基本方針ごとに、どのような事業を行い、どのくらいのお金を使ったのかをできるだけわかりやすく紹介しています。

なお、個々の事業の内容については、直接担当課までお問い合わせください。

宮若市では「ひと・みどり・産業が輝く 新たなふるさと」を将来像としてまちづくりを行っています。この実現に向けて、6つの基本方針を定めています。

まちづくりの基本方針



もくじ

宮若市一般会計決算	4
グラフで見る財政状況	6
第1章 自然と共生したまちづくり	8
自然環境と地域景観の保全	
廃棄物処理とリサイクル対策の推進	
水利用と上水道の整備	
下水道等の整備	
治山・治水・砂防対策の充実	
第2章 個性豊かな快適生活のまちづくり	10
調和のとれた土地利用の促進	
中心拠点、地区拠点の整備	
定住・住宅施策の推進	
道路・交通網の整備	
公園・緑地の整備	
消防・防災・防犯・交通安全の充実	
第3章 活気にあふれる多様な産業と交流のまちづくり	12
農林業の振興	
工業の振興	
企業誘致の推進	
商業の振興	
観光の振興	
第4章 健康でやすらぎのある福祉のまちづくり	13
社会福祉の充実	
児童・母子福祉の充実	
高齢者福祉の充実	
障がい者福祉の充実	
健康づくりの推進	
医療の充実	
第5章 豊かな心を育むまちづくり	16
幼児教育の充実	
学校教育の充実	
生涯教育の推進	
スポーツの推進	
芸術文化活動の充実	
文化財の保護・継承	
第6章 地域が自立した協働のまちづくり	18
ふれあい交流活動の充実	
地域コミュニティの形成	
人権尊重社会の構築	
市民参加の推進	
地域情報化の推進	
第7章 計画の推進と実現のために	19
資料 決算概要	20
ダイアルガイド	24
宮若市市民憲章・宮若市歌「輝くふるさと」	25

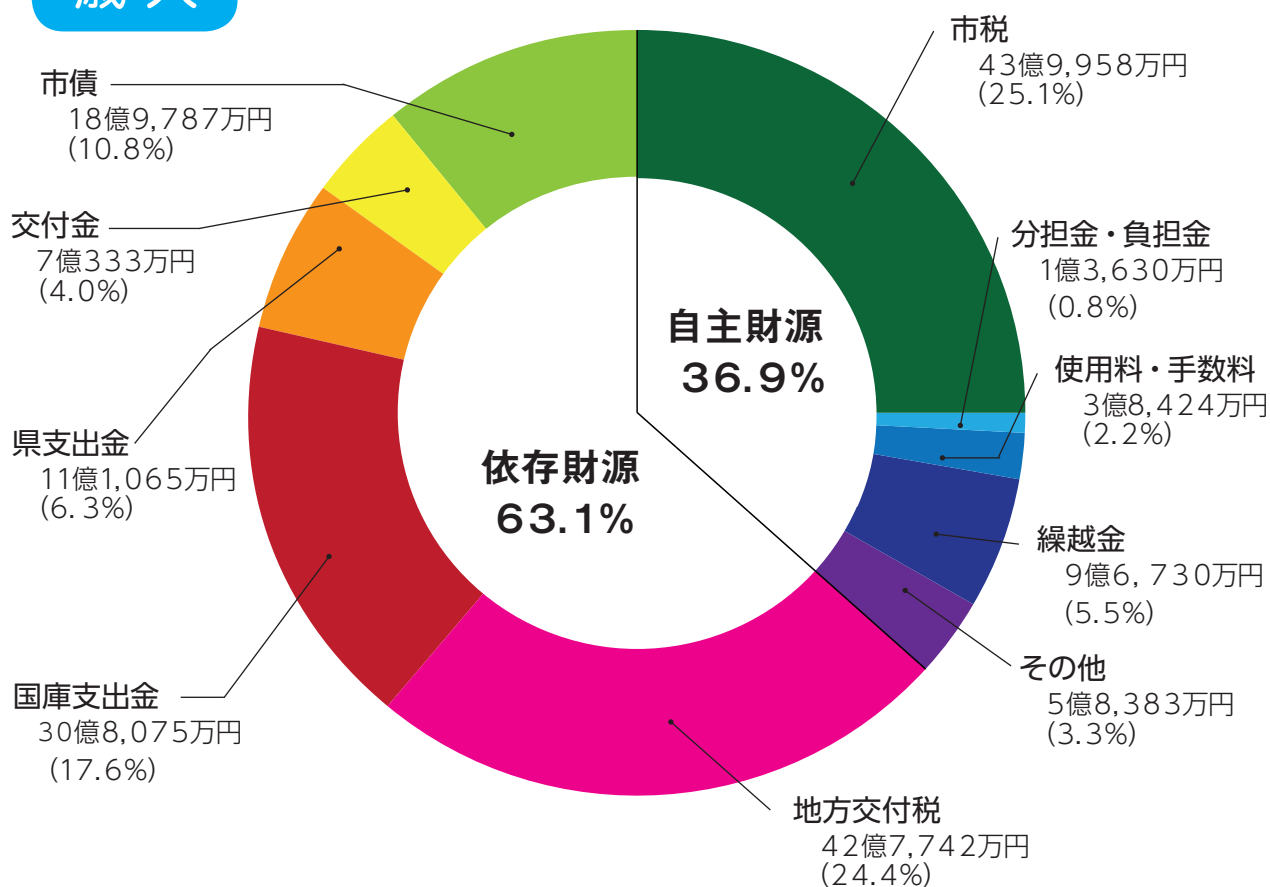
平成26年度 宮若市一般会計決算

歳入 175億4,127万円

歳出 167億8,111万円

差引 7億6,016万円

歳入



自主財源 36.9% (前年度比 +0.3%)

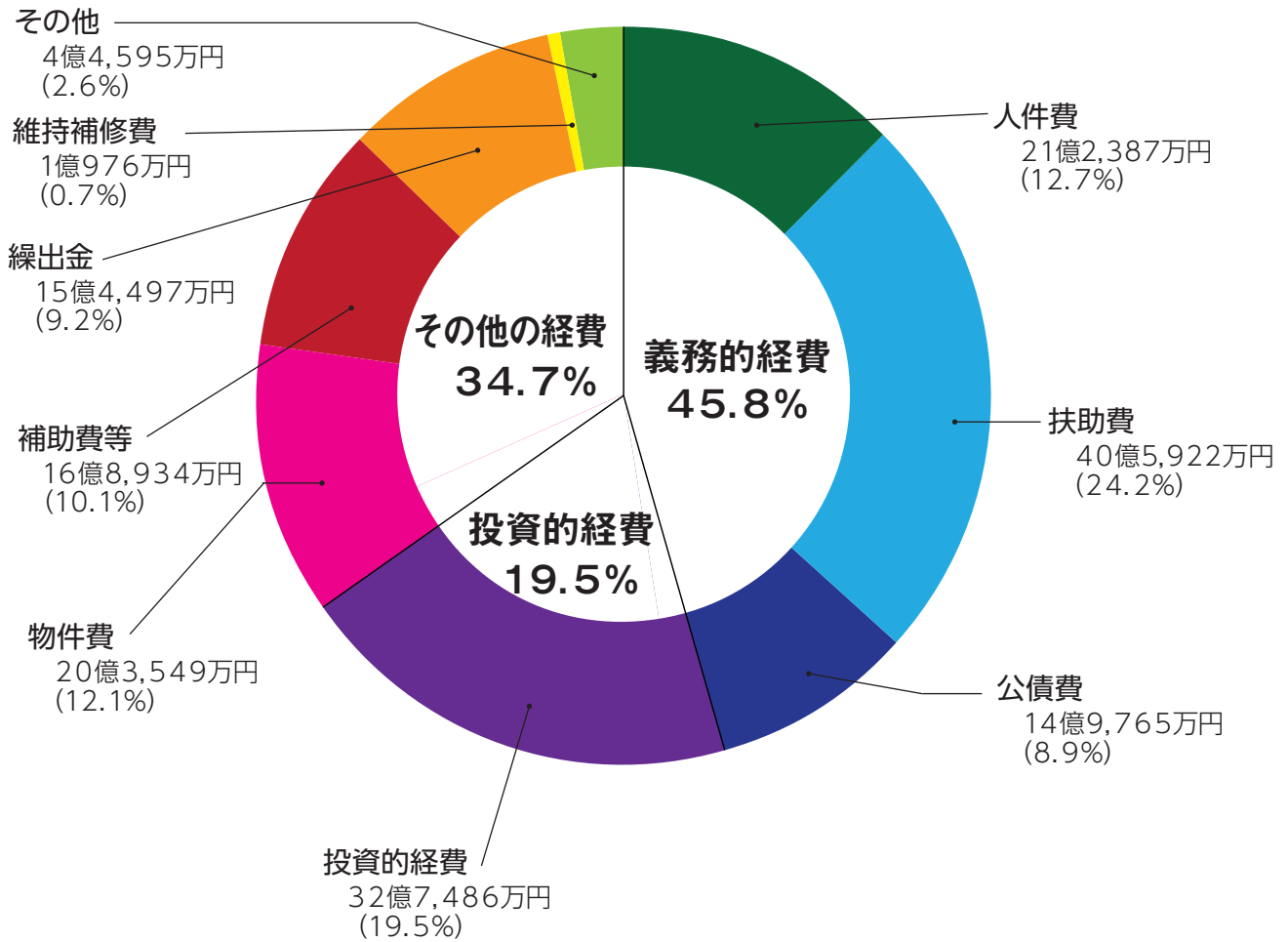
市が自主的に収入できるお金のことで、市税や負担金、使用料、繰越金などのことです。この割合が高いほど財政が安定し、自主的な事業に取り組むことができます。

市税が減少し、施設整備等基金からの繰入金や前年度からの繰越金が増加しました。

依存財源 63.1% (前年度比 -0.3%)

国や県から交付されるお金のことで、国・県支出金、地方交付税、市債などのことです。小中一貫教育校建設工事の着手により学校整備に対する市債が増加し、国の経済対策による地域の元気臨時交付金が減少しました。

歳出



義務的経費 45.8% (前年度比 -1.0%)

市職員や議員などの人件費、子ども・高齢者・被保護者などの生活支援にかかる扶助費、市の借金の返済である公債費のことで、この割合が高いと財政構造が硬直化し、自主的な事業が制限されます。消費税率引き上げの影響の緩和のための臨時的な給付金により、扶助費が増加しました。

投資的経費 19.5% (前年度比 +4.0%)

道路や公共施設の整備、災害復旧などにかかるお金のことです。小中一貫教育校建設工事や光陵地区住宅団地整備工事の着手により大きく増加しました。

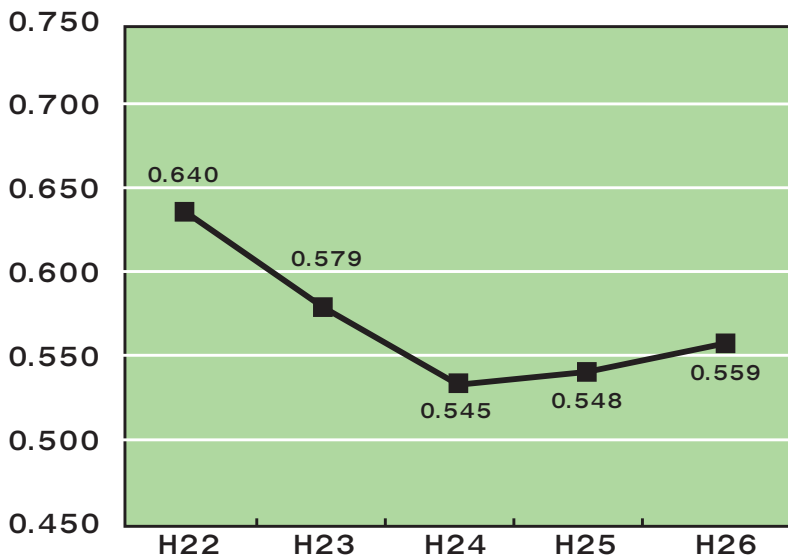
その他の経費 34.7% (前年度比 -3.0%)

施設の維持管理や賃金などの物件費、各種団体や消防署・介護保険広域連合などへの負担金、特別会計への繰出金などのことです。施設整備のための消防署への負担金が増加し、基金への積立金や国民健康保険特別会計への繰出金などが減少しました。

グラフで見る財政状況

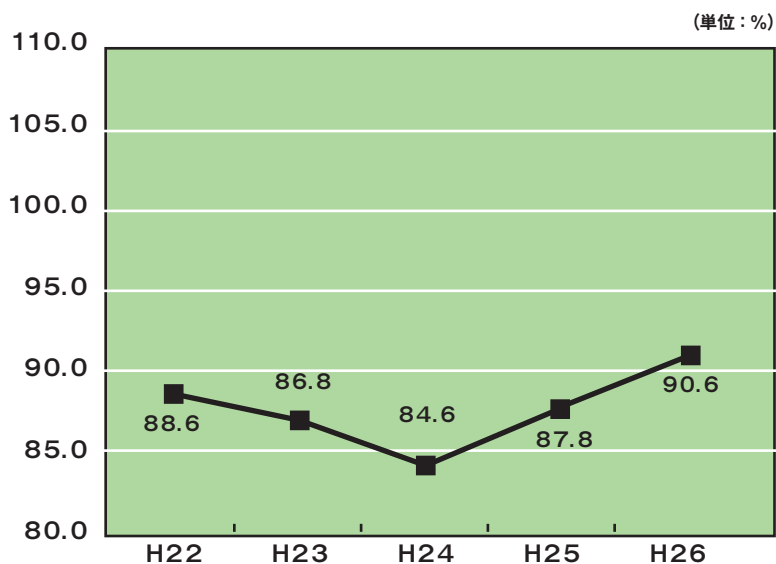
宮若市の財政状況をグラフで見てみましょう。景気の悪化や施設の建設は市の財政にどのような影響を与え、市の行財政改革による支出の削減はどのように効果が表れているのでしょうか。

財政力指数



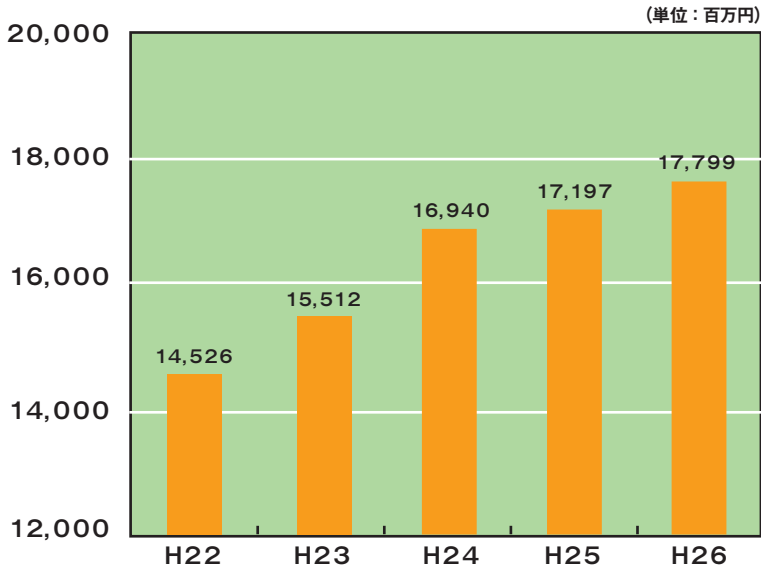
財政力指数は財源の余裕度を表しています。数値が低いほど国への依存度が高いといえます。法人市民税や地方消費税交付金が増加したため少し回復しました。

経常収支比率



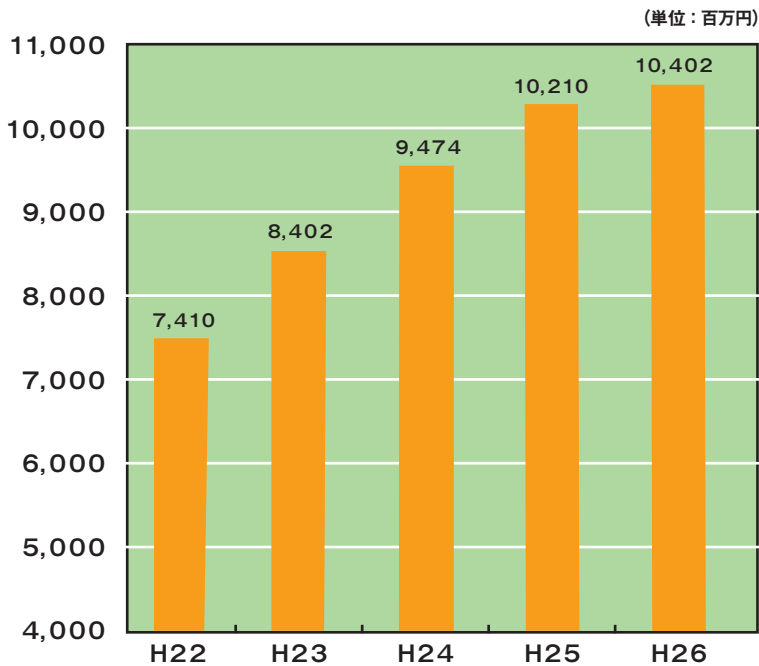
経常収支比率は、人件費などの支出が義務づけられた経費に、市税などの使い道の自由な収入を使った割合です。数値が小さいほど柔軟な財政運営ができると言えます。臨時財政対策債が減少し、人件費などが増加したために高くなりました。

市債残高



市債とは市の借入金のことです。長年にわたって使用する公共施設等については、将来その施設を使う人にも平等に負担してもらう目的もあります。学校教育施設等整備事業債や臨時財政対策債の借入などにより増加しています。

基金残高



基金とは、市の貯金のことです。経済情勢の著しい変動等による収支の悪化に備えるための財政調整基金や減債基金、その他特定の事業を行う目的で積み立てを行っている基金などがあります。財政調整基金への積み立てにより増加しています。

第1章

自然と共生したまちづくり

自然環境と地域景観の保全

■ 住宅用新エネルギー設備等設置
補助事業（環境保全課）

675 万円

財源 市：675万円

地球温暖化の抑制や自然エネルギーを推進するため、太陽光発電システムや家庭用燃料電池（エネファーム）の設置に対して補助を行い、自然環境の保全や循環型社会の構築を積極的に進めました。

■ 不法投棄防止対策事業（環境保全課）

274 万円

財源 県：66万円 市：208万円



不法投棄防止推進委員による監視体制の強化や不法投棄防止監視カメラ、看板、防護柵の設置などによる不法投棄の防止に努めました。また、環境クリーン作戦や遠賀川流域河

川一斉清掃の実施、自治会などが実施している環境美化運動の支援を行いました。

■ ダンボールコンポスト普及事業

（環境保全課）

27 万円

財源 市：27万円

環境基本計画に基づいて、ダンボールコンポストに関心のある市民などを対象に、家庭ゴミの堆肥化を促進するため、ダンボールコンポスト導入講座、フォローアップ講座を実施し、ゴミの減量化を推進しました。



廃棄物処理とリサイクル対策の推進

■ ゴミの減量化・リサイクル推進
事業（環境保全課）

631 万円

財源 市：631万円

ゴミの減量化・リサイクルを推進するため毎月第2・4日曜日に市役所本庁舎と若宮コミュニティセンターの2カ所で資源回収を行っています。



また、ゴミの減量化を図るため、生ゴミ処理機器を購入する人や古紙等の資源回収を行う団体に対して補助金・奨励金を交付しました。

水利用と上水道の整備

■ 浄水施設整備事業（水道課）

2億7,378 万円

財源 国：5,317万円

その他：4,749万円

市：1億7,312万円（うち市債：1億1,560万円）

宮若市の水道水は、八木山川水系の地下水と犬鳴ダムを水源とした上水道により供給しており、計画的に水道施設の整備を進めています。平成26年度も生見浄水場や沼口浄水場など浄水施設の整備を行いました。

また、平成24年度より継続して実施している生見、神ノ隈浄水場統合整備事業に関して、平成26年度については、神ノ隈原水調整池整備工事及び（新）生見浄水場造成工事を行いました。

■ 配水管整備事業（水道課）

7,490 万円

財源 その他：2,397万円
市：5,093万円（うち市債：2,780万円）

各浄水場できれいになった水を運ぶための配水管が市内の各所に埋設されています。平成26年度は本城・村下線配水管布設替工事及び市内の配水管の整備を実施しました。

下水道等の整備

■ 下水道の整備促進（下水道課）

2億8,837 万円

財源 国：7,679万円
その他：1,975万円
市：1億9,183万円（うち市債：1億2,570万円）

福岡県が事業主体である遠賀川中流流域下水道事業の進捗状況と併せて、詳細設計と調査などの業務を行い事業認可区域内の幹線管きよの整備や末端管きよの整備促進を図りました。

また、遠賀川中流流域下水道事業では、広域的な汚水処理対策を図るため、福岡県と関連市町が連携を図りながら整備を促進しました。

※管きよ…下水を収集し、排除するための施設のことで

す。

治山・治水・砂防対策の充実

■ 森林整備地域活動支援交付金事業

（農政課）

176 万円

財源 県：132万円 市：44万円

森林の整備や保全をするため、森林経営計画に基づき、計画的で一体的な造林・保育・伐採等の実施に必要な現況調査や作業路の整備などを行っています。

※森林経営計画…森林所有者または森林の経営の委託を受けた者が、自らが森林の経営を行う一体的なまとまりのある森林を対象として、森林の施業及び保護についての計画です。

■ 荒廃森林再生事業（農政課）

6,892 万円

財源 県：6,892万円

森林には、木材生産だけでなく、水や酸素の供給、土砂災害防止、洪水・渇水の緩和や地球温暖化の防止などの役割があります。



しかし、近年、林業不振等により、森林の荒廃が進み、洪水や渇水、土砂災害の発生など、人々の生活に大きな影響を及ぼす恐れがあります。そのため、福岡県では、森林環境税を使った取り組みを実施しています。宮若市でも継続して未整備森林の解消に向けた取り組みを行っており、平成26年度は約900haの調査と約171haの間伐を実施しました。

※森林環境税…荒廃した森林を守り、育て、豊かな県民共有の財産として次世代へ引き継ぐことを目的に創設されました。市町村が行う森林の整備や造成、荒廃森林の公的取得や、ボランティア団体・NPO団体が行う森林（もり）づくり等の活動支援に充てられています。

■ 砂防費（土木建設課）

2,661 万円

財源 県：1,140万円
市：1,521万円（うち市債：1,140万円）

福岡県の補助事業である急傾斜地崩壊対策事業に取り組んでいます。平成26年度は引き続き、金生の江下地区と宮日田地区の整備を行いました。

第2章

個性豊かな快適生活のまちづくり

調和のとれた土地利用の促進

■ 国土調査の実施（土地対策課）

4,582 万円

財源 国：1,799万円 県：899万円
市：1,884万円

平成26年度は、四郎丸地区の一部の地籍図、地籍簿の作成と、下有木地区の一部の一筆地調査、測量を実施しました。地籍調査完了後は、国の許可を経て法務局の字図と登記簿が修正され、土地取引の円滑化や行政運営の効率化を図ります。

中心拠点、地区拠点の整備

■ 公共施設等総合管理計画の策定

（まちづくり推進課）

287 万円

財源 市：287万円

市内の公共施設等の全体を把握し、長期的な視点をもって更新・統廃合・長寿命化などを計画的に行うことにより、財政負担を軽減・平準化するとともに、公共施設の最適な配置を実現することを目的に計画を策定します。平成26年度は計画策定に必要な基礎資料となる「公共施設白書」の策定を行いました。

■ 宮若市中心拠点整備基本構想の策定（まちづくり推進課）

318 万円

財源 市：318万円

市役所本庁舎については築50年以上が経過し、建物の老朽化が著しいこと、また、庁舎機能が分散し、市民の利便性が損なわれていることなど、多くの課題を抱えています。市役所庁舎、宮若リコリス、直鞆広域消防本部等、行政・文化サービスを提供する公共施設群が集積する本市中心拠点において、防災拠点となる新市庁舎の建設をはじめとする一体的な整備方針を定めるため、平成26年度に「宮若市中心拠点整備基本構想」を策定しました。

■ 耐震診断の実施（管財課）

654 万円

財源 国：218万円 市：436万円

昭和56年以前の旧基準で建築された本庁舎及び関連する建築物について、耐震診断を実施しました。

定住・住宅施策の推進

■（仮称）光陵地区住宅団地の整備

（まちづくり推進課）

2億152 万円

財源 国：2,849万円 市：1億7,303万円

定住人口の拡大を図るため、平成29年度の方譲開始を目標に、大規模遊休市有地を活用した良質で安価な住宅団地の整備を進めています。平成26年度は実施設計に基づき、開発許可手続き及び仮造成工事を行いました。

■ 子育て・新婚世帯家賃補助

（まちづくり推進課）

3,121 万円

財源 市：3,121万円

宮若市に一度住んでもらい、将来の定住者となり得る若い世代の確保を図るため、新婚世帯と転入した子育て世帯を対象に民間賃貸住宅の家賃の一部を補助しました。補助金額の上限を月額2万5千円とし、補助期間は最長で36ヶ月としています。平成26年度は延べ144件の補助金を交付しました。

■ 定住奨励金（まちづくり推進課）

2,618 万円

財源 国：1,151万円 市：1,467万円

定住促進条例に基づき、宮若市に定住するために住宅等を取得した人を対象に固定資産税相当額を奨励金として交付しています。平成26年度は、延べ358件の奨励金を交付しました。

■ 住宅改修補助金の交付 (建築都市課)

495 万円

財源 市：495万円

宮若市住宅改修補助金交付要綱に基づき、市内の施工業者により住宅改修を行った市民に対し、改修費用の10%（10万円を上限）を補助しました。平成26年度の実績は62件でした。

道路・交通網の整備

■ 住民参加による生活道路の整備

(土木建設課)

369 万円

財源 市：369万円

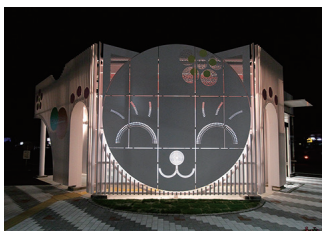
道路環境の美化を目的とする「宮若市道路愛護推進活動に関する資材等支給基準」を拡充し、住民参加による道路環境の保全に努めました。また、制度の周知を積極的にいき、活用団体の増加を図りました。

■ 福丸バス停の整備 (産業観光課)

1,397 万円

財源 国：559万円 市：838万円

市内で最も交通量の多い福丸交差点にあり、JR九州バスと宮若市乗合バスが発着する福丸バス停に、待合時の利便性や滞在環境を向上させ、利用者に安心・安全を提供するとともに、市の観光情報発信機能を持ち合わせた「福丸交流スペース」の整備を進めました。市のイメージキャラクターである追い出し猫を外観にあしらひ、交差点の向かい側にある追い出し猫モニュメントとも一体性を持たせ、福丸商店街「追い出し猫横丁」の活性化や交流人口の増加、地域おこしにつなげていきます。建物内にトイレを設けることから、周辺下水道の整備とあわせ平成27年度の完成を目指して工事に着手しました。



■ 道路新設改良費 (土木建設課)

4億5,411 万円

財源 国：1億7,595万円
市：2億7,816万円
(うち市債：1億6,040万円)

市域を通過する各県道との整合性を図りながら、原田・沼口線、釜底堤防線、小谷線、有木団地1号線、菅牟田・日陽線外の幹線道路の利便性・安全性を高める整備に努めました。

公園・緑地の整備

■ 宮若市交通公園の整備

(土木建設課)

680 万円

財源 国：272万円 市：408万円

施設の老朽化や未利用地の荒廃が進んでいることから、本公園の持つ機能を再評価し、地域住民や遠方からの利用者との交流や情報発信拠点としての公園づくりに努めました。

■ 犬鳴川河川公園・2000年公園管理 (まちづくり推進課)

1,243 万円

財源 市：1,243万円

犬鳴川河川公園、2000年公園の維持管理については、市民団体に委託し、市と市民団体、企業等との協働の管理を行いました。また、市民団体、企業、行政、学校等による多くの方々の交流の場としての活用を推進しました。

消防・防災・防犯・交通安全の充実

■ 防災行政無線の整備促進 (総務課)

329 万円

財源 市：329万円 (うち市債：54万円)

防災行政無線の整備については、災害時等の非常時における有効な市民への情報伝達手段の構築に向けた作業と併せて、エリアメール等の利用可能な資源の活用について検討しました。

■ 犯罪を防止する環境整備 (総務課)

817 万円

財源 市：817万円

自治会などによる防犯灯の設置を支援し、犯罪を防止する環境整備を進めました。

■ 自主防災組織の育成 (総務課)

86 万円

財源 市：86万円

自主防災組織は、自助・共助・公助の基本理念に基づいて、個々の地域防災力の強化に向け、組織の設立・育成に取り組み、災害時における要援護者をはじめとする市民の支援体制の構築を推進しました。

第3章

活気にあふれる多様な産業と交流のまちづくり

農林業の振興

■ 多面的機能支払交付金事業 (農政課)

3,614 万円

財源 その他：2,711万円 市：903万円

農地や農業用水などは、水を蓄えたり、洪水を防止するなど、多くの役割によって私たちの生命と財産を守っています。農業や農村が持つ役割を維持するため、地域で行う農地の保全管理活動を支援しています。平成26年度は新たに2組織が活動を開始し、市内の活動組織は21組織になりました。

■ 青年就農給付金 (農政課)

337 万円

財源 国：337万円

若い世代の就農意欲を高め、その後の定着を図るため、就農を希望する45歳未満の方が経営開始計画に沿って新しく農業を行う場合、最長5年間、年間150万円を給付します。平成26年度は2組に交付しました。

工業の振興

■ 中小企業の経営支援 (産業観光課)

2,000 万円

財源 その他：2,000万円

中小企業者の金融円滑化を図ることを目的として、必要な資金を貸し出す中小企業振興資金融資制度に基づいて、預託金を市が指定する取扱い金融機関に預けました。

企業誘致の推進

■ 企業誘致活動 (まちづくり推進課)

62 万円

財源 市：62万円



磯光工業団地に企業を誘致するため、福岡県の関係部署と連帯し、市内外に製造拠点を有する企業を訪問し、工業団地のPR及び情報交換を行いました。これらの活動により、念願であった磯光工業団地へ自動車関連企業2社の進出が決定しました。

商業の振興

■ 特産品の開発・販路開拓の推進

(産業観光課)

250万円

財源 市：250万円

特産品や農産物の販路開拓や宮若ブランドの確立を図るため、商業者と認定農業者で組織する「宮若じまん振興会」に対して補助金を交付し、販路拡大や普及促進に努めました。



観光の振興

■ イメージアップ事業 (産業観光課)

74万円

財源 その他：74万円

宮若市のイメージアップを図るため、宣伝効果や話題性が高く、市のイメージキャラクターである追い出し猫を積極的に活用して、市内外のイベントや観光物産展等を通じて市の特産品や観光のPRを行いました。



第4章 健康でやすらぎのある福祉のまちづくり

社会福祉の充実

■ 面接相談員配置による体制強化

(保護人權課)

422万円

財源 国：422万円

生活保護制度に精通した面接相談員を配置して、要保護者からの生活相談に対する指導・助言や生活保護の申請手続きなどの支援を行い、生活保護行政の適正化に努めました。

■ 臨時福祉給付金給付事業

(保護人權課)

1億828万円

財源 国：1億828万円

消費税の引き上げに際し、低所得者に与える影響を鑑み、低所得者に対する適切な配慮を行うため暫定的・臨時的な措置として臨時福祉給付金を支給しました。

児童・母子福祉の充実

■ 母子家庭等への支援 (子育て支援課)

2億1,555万円

財源 国：7,231万円 県：199万円
市：1億4,125万円

母子家庭及び父子家庭の生活の安定と自立支援を促進するために児童扶養手当や高等職業訓練促進費などの給付を行いました。

■ 子育て世帯臨時特例給付金

給付事業 (子育て支援課)

3,562万円

財源 国：3,562万円

消費税率引き上げに伴う、子育て世帯の家計への負担を軽減することを目的に、臨時的な給付措置として、児童手当受給世帯に対し臨時特例給付金を支給しました。

■ 子ども・子育て支援事業計画の策定（子育て支援課）

221 万円

財源 市：221万円

平成24年度に制定された「子ども・子育て支援法」に基づいて、5年を1期とする子ども・子育て支援事業の提供体制の確保やその他の法律に基づいた業務の円滑な実施に関する計画を定める必要があります。平成26年度は、平成25年度に実施した市民アンケート調査結果を基に、「宮若市子ども・子育て支援事業計画」を策定しました。

■ 子育て支援センターの運営

（子育て支援課）

1,687 万円

財源 国：593万円 県：593万円
その他：215万円 市：286万円



子育て支援センターさくらんぼ（さくら幼稚園内）、たんぽぽ（宮若リコリス内）、たけんこ（若宮幼稚園内）にて、子育て相談や親子の交流の場

として地域の身近な子育て支援の拠点となるようセンター運営を行いました。

また、平成26年7月からは、「さくらんぼ」のみで実施してきた一時預かり事業を拡充し、「たけんこ」においても一時預かり事業を開始しました。

■ 保育所の充実（子育て支援課）

1億2,496 万円

財源 県：1億1,108万円 市：1,388万円

本市では保育所の待機児童が生じていることから、保育所の整備が急務となっています。平成26年度は、なないろ保育園の新築工事に対し補助金を交付し、民間の保育所整備を支援することで待機児童の解消を目指しました。宮田保育園においても、平成27年中の完成を目指して園舎建て替え工事が進められており、平成26年度の繰り越し予算で補助金を交付する予定です。

高齢者福祉の充実

■ 地域包括支援センター事業

（健康福祉課）

4,728 万円

財源 県：54万円 その他：4,674万円

高齢者が住み慣れた地域で、自立して生活が送れるように、地域の実情に応じた介護予防ケアマネジメント等の事業を実施しながら、相談体制や地域における介護・介護予防・医療・生活支援・住まいの一体的提供を目的とした「地域包括ケア」の充実を図りました。

■ 介護予防事業（健康福祉課）

3,123 万円

財源 介護予防事業費広域連合負担金：1,667万円
市：1,456万円

介護予防事業は、元気な高齢者が介護の必要な状態になることを予防するための取り組みです。

■ 通所型介護予防事業

要支援・要介護状態となる可能性の高い65歳以上の人を対象に、運動器の機能向上、栄養改善、口腔機能の向上などの教室を開催しました。

■ 介護予防普及啓発事業

運動器の機能向上、栄養改善、口腔機能の向上、認知症予防を目的として自治会などを中心に実施する介護予防教室を通して介護予防に関する知識を習得してもらい、日常生活の中で自発的に介護予防の取り組みが行われるよう支援しました。認知症予防については、平成25年度から楽器演奏や歌を唄う「シニア生き生き音楽教室」を実施しています。



障がい者福祉の充実

■ 障害福祉サービス等の提供

(健康福祉課)

5億7,064 万円

財源 国：2億8,532万円 県：1億4,266万円
市：1億4,266万円

住み慣れた家庭や地域で安心して充実した生活が送れるよう、訪問系サービス、日中活動系サービス及び居住系サービスなど利用者の目的にあったサービスを提供するほか、日常生活能力の改善を支援するための補装具費の支給などを行いました。

■ 地域生活支援事業 (健康福祉課)

3,055 万円

財源 国：656万円 県：328万円
市：2,071万円

障がいのある人やその保護者などの相談体制の確立を図るとともに、意思疎通支援や移動支援、日中一時支援、日常生活用具給付等事業など、安心して日常生活が送れるような支援体制の整備を図りました。

■ チャレンジ雇用の実施 (総務課)

66 万円

財源 市：66万円

本市で職務経験を積むことにより、民間企業への円滑な就職を支援するため、障がい者の中でも比較的就労機会の少ない方を対象としてチャレンジ雇用を実施しました。

健康づくりの推進

■ 健康診断・がん検診 (健康福祉課)

2,128 万円

財源 国：179万円 県：3万円
その他：108万円 市：1,838万円

生活習慣病の早期発見、生活習慣の改善や治療につなげるため、18歳以上の市民を対象に健康診断及びがん検診(胃がん、肺がん、大腸がん、子宮がん、乳がん)を実施しました。

■ 特定健康診査・特定保健指導

(市民生活課)

1,436 万円

財源 国：680万円 県：351万円
市：405万円

特定健康診査(特定健診)とは内臓脂肪型肥満に着目した健康診査のことで、メタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)に該当する人などを対象に生活指導などを行い、生活習慣病を予防することを目的として実施しました。また、受診率の向上対策として、自己負担の無料化と業者委託による未受診者への受診勧奨を行いました。

医療機関と連携を図り受診率の向上に努めるとともに、健診の結果、生活習慣病の予備軍や要受診者となる方を対象に、保健師・管理栄養士による受診指導、生活改善指導を実施し、疾病の発症・悪化防止に努めました。

■ 予防接種 (健康福祉課)

6,523 万円

財源 市：6,523万円



感染症の発生や流行を予防するため、予防接種の推進を行いました。平成26年10月1日以降は、水痘、成人用肺炎球菌が定期予防接種に追加されました。併せて、高齢者肺炎球菌予防接種については普及啓発と費用の助成を継続して行いました。

- ・三種混合(ジフテリア、百日せき、破傷風)
- ・四種混合(ジフテリア、百日せき、破傷風、ポリオ)
- ・二種混合(ジフテリア、百日せき)
- ・日本脳炎
- ・ポリオ
- ・BCG
- ・ヒブ
- ・水痘
- ・高年齢者肺炎球菌(助成事業)
- ・MR(麻疹、風疹)
- ・インフルエンザ
- ・小児肺炎球菌
- ・HPV(子宮頸がん)
- ・成人用肺炎球菌

■ 新型インフルエンザ等対策行動

計画の作成（健康福祉課）

28 万円

財源 市：28万円

感染拡大のおそれがある新型インフルエンザや新感染症の発生時に備え、感染拡大を可能な限り抑制し、市民の生命と健康を保護するとともに、市民生活や経済に及ぼす影響を最小限にするため、行動計画を作成しました。

医療の充実

■ 医療費適正化の推進（市民生活課）

14 万円

財源 市：14万円

本市国民健康保険財政の健全化に向けた取り組みの一つとして、ジェネリック医薬品（後発医薬品）の使用による減額通知を実施し、普及促進に努めました。

第5章 豊かな心を育むまちづくり

幼児教育の充実

■ 子ども・子育て支援施設整備

基本方針の策定（子育て支援課）

194 万円

財源 市：194万円

今後の宮若市の公立保育のあり方について、保育サービスの充実や多様化への対応、認定こども園化等の実現に向けた検討を行い、「宮若市子ども・子育て支援施設整備基本方針」を策定しました。

■ 確かな学力の育成（学校教育課）

1,457 万円

財源 国：32万円 市：1,425万円



学力向上については、確かな学力を確立するための基礎的で基本的な知識と技能の習得や思考力と判断力と表現力などを育成し、学習意欲の向上や学習習慣の定着を図るため、学力向上プロジェクトE事業を中心として様々な事業を実施しています。

平成26年度においても、学力実態調査・体力実態調査の実施、授業改善を目的とした教職員の指導力向上のための教職員研修の実施、サタデー・ピア・スクールにおいて国語、算数の2教科に加え、トヨタ自動車九州㈱の協力を得て、サイエンススクールを実施しました。

また、教職員の資質向上のため、「みやわか教師塾」を開催し、教職員自身が自分の意識改革を行い、教職員同士が切磋琢磨しあうような研修を実施しました。

学校教育の充実

■ 教育支援センターの設置

（学校教育課）

1,353 万円

財源 市：1,353万円



学校に行けない児童生徒に対し、学習支援や心理的側面からの支援を行い、学校復帰に導く、教育支援センター（適応指導教室）

を開設し、不登校対策を推進しました。また、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、教育相談員を配置し、児童生徒や保護者に対する直接相談や電話相談などを行い、教育相談体制の充実を図りました。

■ 若宮小学校・宮若西中学校 (小中一貫教育校) 整備事業

(学校教育課)

12億5,335 万円

財源 国：2億1,057万円
市：10億4,278万円
(うち市債：8億600万円)

若宮小学校・宮若西中学校(小中一貫教育校)について、平成28年4月の開校を目指して、建築工事に着手しました。



■ 教育施設の適正配置 (学校教育課)

393 万円

財源 市：393万円

整備計画については、宮若西中学校区の学校と幼稚園の整備計画から策定を進めることとし、公募の市民の方によるボランティアスタッフ会議を5回、学校関係者、保護者等で組織する学校等整備計画策定委員会を6回開催しました。子どもたちにとってよりよい教育環境を整備するために協議を行い、計画の素案をとりまとめ、保護者への説明を行いました。

生涯教育の推進

■ リコリス子どもまつりの開催

(社会教育課)

79 万円

財源 市：79万円

青少年健全育成事業の一環として「リコリス子どもまつり」の開催を予定していましたが、悪天候により中止となりました。そのため、規模を縮小して「子どもまつりミニ」を実施しました。



■ 子ども読書活動推進計画の策定

(社会教育課)

166 万円

財源 市：166万円

活字離れが進む中、子どもの読書環境の整備・読書活動を推進するため、宮若市子ども読書活動推進計画を策定しました。

スポーツの推進

■ 光陵グリーンパークの整備

(社会教育課)

2,059 万円

財源 国：626万円
市：1,433万円(うち市債：560万円)

平成24年度に光陵グリーンスタジアム(野球場)が完成しました。平成26年度は多目的グラウンドを整備しました。今後はウォーキング・ジョギングに利用できる園路やクラブハウスなどの施設を年次的に整備します。



■ 屋外ステージ屋根設置工事

(社会教育課)

3,684 万円

財源 その他：3,672万円 市：12万円

西鞍の丘総合運動公園屋外ステージに屋根を設置し、利便性の向上を図りました。

芸術文化活動の充実

■ コンサート等鑑賞事業 (社会教育課)

103 万円

財源 市：103万円

身近に多様なジャンルの音楽を聴けるように、生涯学習センター「宮若リコリス」のエントランスホールを使ったミニコンサート、地域住民のためのコンサートを開催しました。

文化財の保護・継承

国指定史跡竹原古墳保存整備計画 (基本計画編) 策定事業 (社会教育課)

302 万円

財源 市：302万円



国指定史跡竹原古墳を広く共有の財産として後世に残していき、保存整備や環境整備を推進するため、「竹原古墳保存整備計画(基本計画編)」の策定を行いました。

埋蔵文化財の公開・広報事業

(社会教育課)

102 万円

財源 市：102万円



出土遺物の実測作業や遺構実測図の製図作成、遺構と遺物写真の整理作業などを行い、中遺跡群発掘調査の記録集として、圃場整備事業時に発掘調査した麦田遺跡Ⅱ区の発掘調査報告書を刊行しました。

また、広報活動として、出前歴史講座や歴史探訪を開催し、発掘調査の成果発表や文化財の広報活動を行いました。

第6章 地域が自立した協働のまちづくり

ふれあい交流活動の充実

3者協定に基づく海外交流事業

(総合政策課)

176 万円

財源 市：176万円

トヨタ自動車九州(株)、宗像市及び宮若市の地域連携事業として、市内在住の高校生を海外に派遣するプログラムを実施しました。現地のホストファミリーや同世代高校生等との交流、日本のことを伝えるプレゼンテーション等を通じて将来を担うグローバルな人材の育成を支援しました。

平成26年度は12名(宮若市枠5名、宗像市枠5名、トヨタ枠2名)の中高生をカナダに派遣しました。



地域コミュニティの形成

職員地域担当制度 (まちづくり推進課)

40 万円

財源 市：40万円

自治基本条例に基づく職員の地域担当制度について、若宮ブロックは事業の実施(合同防災訓練、追い出し猫横丁ハロウィン祭り)、笠松ブロックにおいては平成27年度の事業実施に向けた事業計画の策定を行いました。



人権尊重社会の構築

人権啓発・学習活動の推進

(保護人権課)

31 万円

財源 市：31万円

「男女共同参画基本計画」に基づいて、講演会の開催や、男女共同参画に関する「父と子の料理教室」などの講座を行いました。

市民参加の推進

市勢要覧の更新（総合政策課）

210 万円

財源 市：210万円

市勢要覧とは、市内外に宮若市の魅力を広く発信するとともに、理解を深めてもらうことを目的として、宮若市の主要施策をはじめ、情勢や現況及び地域の特色等を写真や図などを用い分かりやすく紹介するものです。

市勢要覧は4年に一度更新しており、平成26年度に新たに更新しました。

地域情報化の推進

マイナンバー制度推進のための 体制整備（総務課）

1,620 万円

財源 国：995万円 市：625万円

平成28年1月から運用が開始されるマイナンバー制度は、制度の導入のために大規模なシステム改修が必要となるなど行政運営への影響が多岐にわたるため、全庁一体となった組織体制を整備して取り組んでいます。

マイナンバー制度を効率的かつ計画的に推進することで、市民サービスの向上と行政事務の効率化を図っていきます。

第7章 計画の推進と実現のために

地番現況図等更新業務（税務収納課）

1,166 万円

財源 市：1,166万円

課税対象物件の的確な把握による適正な課税を図るために、地番現況図や公図の通年異動更新と平成27年度の評価替えに向けての土地評価見直し業務を行いました。

固定資産（土地）評価の価格修正 に伴う標準宅地時点修正業務

（税務収納課）

132 万円

財源 市：132万円

地価の下落を次年度の固定資産評価額に反映させるため、7月1日時点における標準宅地の時点修正率を土地の鑑定評価により求め、市内全域の宅地などの価格の修正を行いました。

収納率の向上及び滞納対策の強化

（税務収納課）

141 万円

財源 市：141万円

資力のある滞納者の動産等の差押を行い、公売会を通じて滞納となっている税に充当しました。

また、ファイナンシャルプランナーによる法律相談や家計改善の指導などに取り組み、多重債務がある方のうち、特に過払い金請求が可能な方への指導・助言を通して、戻ってきた過払い金を基に滞納整理を進めました。

さらに、相続財産管理人による相続財産の処分手続きを進めました。

資料. 決算概要

一 般 会 計

歳入総額	175億4,127万円
歳出総額	167億8,111万円
差引残額	7億6,016万円

歳 入

款	決算額
1 市税	43億9,958万円
2 地方譲与税	1億5,378万円
3 利子割交付金	557万円
4 配当割交付金	1,768万円
5 株式等譲渡所得割交付金	986万円
6 地方消費税交付金	4億2,943万円
7 ゴルフ場利用税交付金	4,541万円
8 自動車取得税交付金	2,429万円
9 国有提供施設等所在市町村助成交付金	188万円
10 地方特例交付金	1,015万円
11 地方交付税	42億7,742万円
12 交通安全対策特別交付金	528万円
13 分担金及び負担金	1億3,630万円
14 使用料及び手数料	3億8,424万円
15 国庫支出金	30億8,075万円
16 県支出金	11億1,065万円
17 財産収入	1億905万円
18 寄附金	604万円
19 繰入金	2億3,394万円
20 繰越金	9億6,730万円
21 諸収入	2億3,480万円
22 市債	18億9,787万円

歳 出

目的別

款	決算額
1 議会費	1億6,250万円
2 総務費	19億5,030万円
3 民生費	63億2,405万円
4 衛生費	12億4,415万円
6 農林水産業費	5億8,813万円
7 商工費	2億605万円
8 土木費	13億6,676万円
9 消防費	7億6,614万円
10 教育費	26億4,724万円
11 災害復旧費	2,814万円
12 公債費	14億9,765万円

性質別

区分	決算額
人件費	21億2,387万円
扶助費	40億5,922万円
公債費	14億9,765万円
物件費	20億3,549万円
維持補修費	1億976万円
補助費等	16億8,934万円
繰出金	15億4,497万円
積立金	4億2,595万円
投資及び出資金・貸付金	2,000万円
投資の経費	32億7,486万円

国民健康保険特別会計

歳入総額	32億8,318万円
歳出総額	35億7,780万円
差引残額	-2億9,462万円

歳入

款	決算額
1 国民健康保険税	5億2,202万円
2 使用料及び手数料	47万円
3 国庫支出金	9億7,607万円
4 療養給付費等交付金	2億6,598万円
5 前期高齢者交付金	6億1,026万円
6 県支出金	1億9,843万円
7 共同事業交付金	4億6,325万円
9 繰入金	2億4,321万円
11 諸収入	349万円

歳出

款	決算額
1 総務費	5,048万円
2 保険給付費	22億8,570万円
3 後期高齢者支援金等	3億8,956万円
4 前期高齢者納付金等	30万円
5 老人保健拠出金	2万円
6 介護納付金	1億8,402万円
7 共同事業拠出金	4億8,152万円
8 保健事業費	1,475万円
11 諸支出金	4,355万円
13 繰上充用金	1億2,790万円

後期高齢者医療特別会計

歳入総額	4億2,498万円
歳出総額	4億1,915万円
差引残額	583万円

歳入

款	決算額
1 後期高齢者医療保険料	2億8,645万円
2 使用料及び手数料	4万円
3 繰入金	1億3,259万円
4 繰越金	590万円

歳出

款	決算額
1 総務費	233万円
2 後期高齢者医療広域連合納付金	4億1,591万円
3 諸支出金	11万円
4 保健事業費	80万円

住宅新築資金等特別会計

歳入総額	1,122万円
歳出総額	381万円
差引残額	741万円

歳入

款	決算額
1 貸付回収金	753万円
2 県支出金	35万円
3 財産収入	23万円
5 繰越金	311万円

歳出

款	決算額
1 住宅新築資金等貸付金	19万円
2 基金積立金	24万円
3 公債費	338万円

簡易水道事業特別会計

歳入総額	1億1,207万円
歳出総額	1億1,192万円
差引残額	15万円

歳入

款	決算額
1 分担金及び負担金	210万円
2 使用料及び手数料	4,101万円
3 繰入金	4,940万円
4 繰越金	863万円
5 諸収入	723万円
6 市債	370万円

歳出

款	決算額
1 総務費	1,345万円
2 事業費	4,198万円
3 公債費	5,649万円

公共下水道事業特別会計

歳入総額	5億1,053万円
歳出総額	4億8,573万円
差引残額	2,480万円

歳入

款	決算額
1 分担金及び負担金	1,457万円
2 使用料及び手数料	2,160万円
3 国庫支出金	7,678万円
5 財産収入	1万円
6 繰入金	2億5,547万円
7 繰越金	1,122万円
8 諸収入	518万円
9 市債	1億2,570万円

歳出

款	決算額
1 総務費	7,685万円
2 公共下水道建設費	2億8,837万円
3 公債費	1億2,051万円

吉川財産区特別会計

歳入総額	213万円
歳出総額	200万円
差引残額	13万円

歳入

款	決算額
1 財産収入	2万円
2 繰入金	180万円
3 繰越金	31万円

歳出

款	決算額
1 総務費	81万円
2 財産費	119万円

水道事業会計

(1) 収益的収入及び支出

収入 5億5,608万円

区分	決算額
給水収益	4億814万円
受託給水工事収益	4,881万円
その他営業収益	22万円
負担金	2,184万円
受取利息	3万円
他会計補助金	149万円
水道加入金	168万円
長期前受金戻入	6,338万円
雑収益	1,049万円

支出 5億3,773万円

区分	決算額
原水及び浄水費	1億1,991万円
配水及び給水費	7,964万円
受託給水工事費	5,155万円
総係費	5,062万円
減価償却費	1億7,721万円
支払利息及び企業債取扱諸費	3,523万円
消費税	688万円
特別損失	1,669万円

(2) 資本的収入及び支出

収入 2億7,140万円

区分	決算額
企業債	1億4,340万円
他会計補助金	3,846万円
負担金	3,637万円
国庫補助金	5,317万円

支出 4億5,798万円

区分	決算額
施設改良費	3億4,868万円
固定資産購入費	681万円
企業債償還金	1億249万円

宮若市役所 ダイアルガイド

事業の内容の詳細などは、お気軽にこちらまでおたずね下さい。

本庁舎 TEL 0949-32-0510 (代) FAX 0949-32-9430

課名	係名	業務内容	電話番号
総務課	総務グループ	職員の人事、給与、研修、福利厚生、文書、情報公開、個人情報保護など	32-0511
	防災安全係	消防、防災、防犯、交通安全など	
	情報推進係	電算システムの開発管理、セキュリティ対策など	32-1072
管財課	財産管理係	市有財産管理、庁舎管理など	
	契約係	契約、請負業者の指名及び入札など	32-0761
市民生活課	市民係	転入転出等、住民票、戸籍、印鑑登録、選挙管理委員会など	32-0514
	国保年金係	国民健康保険、国民年金、後期高齢者医療など	32-4004
税務収納課	市民税係	市県民税、国民健康保険税、軽自動車税の賦課など	32-0513
	資産税係	土地、家屋及び償却資産の評価、賦課など	
	収納・滞納対策係	市税、国民健康保険税の徴収及び市税等諸証明の交付、税及び料の滞納対策全般など	32-1008
総合政策課	秘書広報係	表彰、市長及び副市長秘書、広報など	
	政策推進係	総合計画、広域行政、人材育成、まちづくり出前講座、国際交流など	32-0512
	財政係	予算編成、執行管理、財政計画、地方交付税、市債、行財政改革など	
まちづくり推進課	地域振興係	定住促進、自治会、犬鳴川河川公園、空き家・空き地対策、企業誘致など	
	拠点整備推進係	拠点整備の促進など	32-0773
子育て支援課	子育て支援係	児童及び母子福祉、児童手当、児童扶養手当、家庭児童相談など	
	幼児育成係	保育所維持管理・運営、学童保育など	32-0517
健康福祉課	障害者福祉係	障がい者(児)福祉など	32-0515
	高齢者福祉係	高齢者福祉、介護保険、戦傷病者遺族等援護、高齢化対策など	
	健康対策係 (保健センター・パレット)	健康づくり、各種保健事業、予防接種、母子健康手帳交付、精神保健など	55-6000
	地域包括支援センター	介護予防ケアマネジメント、高齢者の総合相談支援など	33-3456
保護人権課	事務係	生活保護に関する事務など	
	保護係	生活保護に関することなど	32-9377
	人権福祉係	民生・児童委員、人権・同和対策、男女共同参画、隣保館、日本赤十字社事業、住宅新築資金など	32-0765
環境保全課	環境衛生係	じん芥施設、衛生施設に関すること、犬の登録など	
	環境対策係	環境基本計画、火葬場、不法投棄、太陽光発電等設置助成など	32-0516
産業観光課	商工振興係	商工業の振興、消費生活、雇用促進など	
	観光推進係	観光振興、いこいの里千石等観光資源、犬鳴ダム周辺公園など	32-0519
農政課	農林対策係	林業経営の改善、林業生産の基盤整備、有害鳥獣駆除、荒廃森林対策など	
	農業振興係	農業経営の改善、地域農政推進、認定農業者、農業共済など	32-0518
土地対策課	用地係	用地取得、登記、土地収用法、地価公示法、市道の認定、道路台帳、占用使用許可、屋外広告物など	32-0569
	国県道整備対策係	県道の整備に関することなど	
	国土調査係	地籍測量、地籍図作成、地籍簿作成など	32-0566
建築都市課	建築都市グループ	都市計画、建築協定、景観、緑化対策、市営住宅の建設・維持管理など	
	住宅管理係	市営住宅の入退去、特定鉱害復旧等申出事務、住宅改修助成など	32-0955
土木建設課	維持係	道路、河川、下排水維持管理、土木災害復旧、交通安全施設など	
	建設係	土木施設の新設改良工事など	32-0799
	農業土木係	農業用施設等の新設・改良・維持管理、土地改良、災害復旧、林地崩壊防止事業、力丸用水など	
下水道課	下水道係	下水道工事施工管理、設計、事業計画など	
	管理係	下水道資産管理、使用料、浄化槽設置助成など	32-3159
会計課	会計係	各種料金の支払い窓口、公金経理、資金管理など	32-3323
水道課	業務係	水道料金に関することなど	
	給水係	水道の給水など	32-1005
	浄水係	浄水場の維持管理など	
学校教育課	管理係	学校・幼稚園の施設整備及び維持管理など	
	学校教育係	児童就学、奨学金、通学区域など	32-1007
社会教育課	公民館・スポーツ振興係	公民館・スポーツ施設の管理運営、社会体育、学校体育施設開放など	32-0123
	社会教育推進係	図書館、青少年の健全育成、生涯学習など	
	文化振興係	文化財、文化振興など	32-3210
学校給食課	学校給食係	学校給食、給食センターなど	32-0715
議会事務局	議会係	市議会に関することなど	32-1135
農業委員会	農業委員会事務局	農地等の利用関係、農地法、農業者年金など	32-3553
監査事務局	監査事務局	監査委員及び公平委員会に関することなど	32-1004

若宮総合支所 TEL 0949-52-1111 (代) FAX 0949-52-3119

課名	係名	業務内容	電話番号
市民課	市民福祉グループ	転入転出、住民票、戸籍、税の収納証明、国民健康保険、国民年金、オフトーク放送、児童及び母子福祉、人権・同和対策、ごみ、し尿など	52-1111

宮若市市民憲章

宮若市歌「輝くふるさと」

私たちの宮若市は、緑輝く自然や誇りある歴史を先人より受け継いできたまちです。

このまちを愛する私たちは、将来の夢や希望を実現できる「輝くふるさと」を目指し、ここに市民憲章を定めます。

- 一 みどり豊かな自然を愛し、美しいまちをつくりまします。
- 一 歴史と伝統に学び、文化の薫り高いまちをめざします。
- 一 互いに助けあい、やすらぎのあるまちをめざします。
- 一 活力に満ちた産業を育み、働きやすいまちをつくりまします。
- 一 ふるさとを愛し、誇れるまちをつくりまします。

安らげる人がいる 癒される緑がある

そして輝く 歴史がある

宮若市温かいふるさと

宮若市輝くふるさと

さあここへお出でよ

共に輝く未来を築こうよ

風が優しさを連れてくる

水が命を授けてくれる

人は思いやりに溢れ 街は喜びに包まれる

そんな街だよ 大好きな街だよ

君と一緒に見つめたい 歴史と夢と未来を

安らげる人がいる 癒される緑がある

そして輝く 歴史がある

宮若市温かいふるさと

宮若市輝くふるさと

さあここへお出でよ

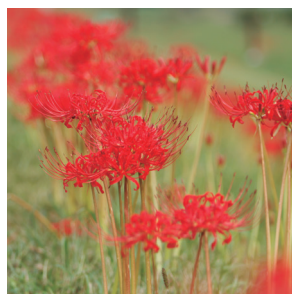
共に輝く未来を築こうよ

輝くふるさとを築こうよ



市章

「み」の文字をモチーフに、市民が明るく輝き、飛躍している様子を表しています。



市の花・彼岸花

どんな天候でも花を咲かせ、堅実な歩みを目指す宮若市を表しています。



市の木・桜

河川敷や公園などに植えられ、市民の皆さんに親しまれています。

宮若市役所 総合政策課 政策推進係

〒823-0011 福岡県宮若市宮田29番地1

TEL 0949 (32) 0512

FAX 0949 (32) 9430

URL <http://www.city.miyawaka.lg.jp/>

E-mail seisaku@city.miyawaka.lg.jp